

## 地縁法人 錦生自治協議会



平成28年7月

1

## 錦生地域の位置・人口等

- ・奈良県宇陀市に隣接した農村主体の地域
- ・地域面積320ヘクタール
- ・人口 1,788人
- ・世帯数 693世帯
- ・65歳以上人口 693人、38.8%
- ・人口密度 6人/ha

地縁法人  
錦生自治協議会

宇陀市  
奈良県



国道165号

2

# 錦生グランドデザイン・2014

## — フロアグ —

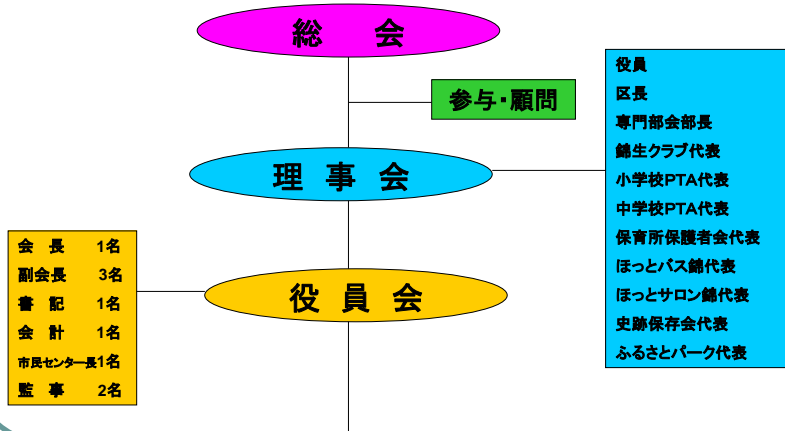
- 明治22年4月、安部田郷と矢川郷の合併により、旧名賀郡錦生村で昭和29年3月名張市に町村合併
- 笠置山地南東斜面と室生火山郡の山々が当地域で相対し、その中心を宇陀川が流れており、古代から人々の往来が頻繁で、現在も三重県の西の玄関口と言われています。
- 奈良に都があった時代は、現在の国道165号は当時の東海道にも匹敵する重要街道であり、それに関する民話が当地域には多く残っています。
- 地方分権時代の今日「**自分たちのまちは自分たちでつくる**」の観点から、地域住民の思いや願いを反映した『錦生なごやかプラン』を平成16年に策定し、平成22年には「**錦生グランドデザイン・2010**」を示し、錦生地域の住民自らの手で、活力と潤いのあるまちづくり、人づくりを目指しています。
- 平成24年には、法律上における責任の所在を明確にし、継続した活動基盤の確立を図るため**地縁法人**の認可を受けました。

3

# 地縁法人錦生自治協議会組織図(1)

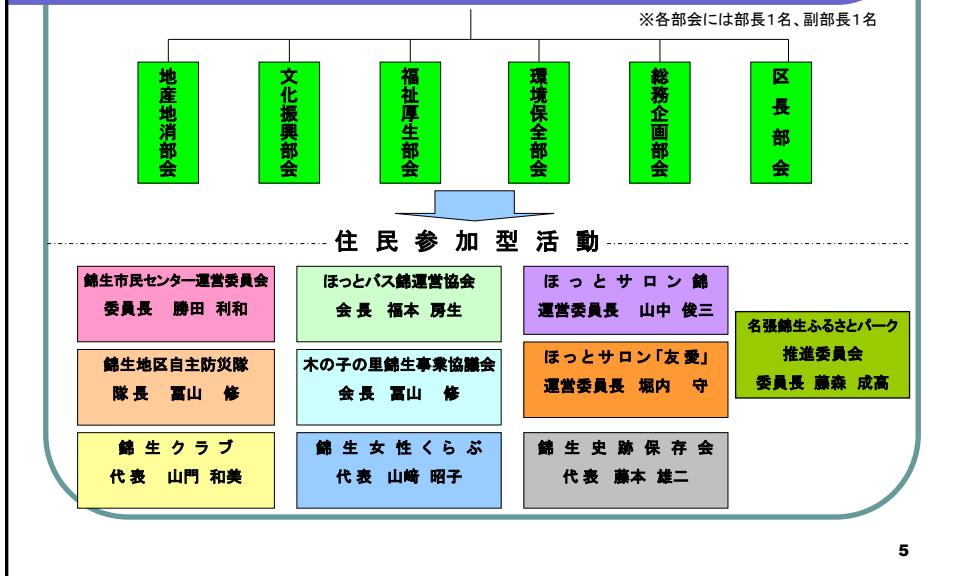
## 錦生地域住民

(名張市地域づくり組織条例施行規則第3条別表第1による)



4

## 地縁法人錦生自治協議会組織図(2)



## ●地域活性化ビジョン

(区長部会)……全地域又は各地区の課題について協議し、各地区の連携及び振興を図ること。回覧板の配布等、地域内の住民相互の連絡に関すること等を所掌する。

- ・月1回の会議で協議した事項を持ち帰り区民に報告。又各地区の要望を会議に取り上げ協議会で検討し、協議会と連名で市へ要望書を提出するなど、区と協議会と市のパイプ役としての活動が中心です。その他各行事、部会活動には必ず参加協力し、活動を盛り上げています。

敬老会の催し



追悼式



## ●地域活性化ビジョン

(総務企画部会)・・・地域のまちづくりに関する総合的な計画等を検討すること、指定管理者制度による施設の管理運営に関する事業を所掌する。

・27年度は年2回の広報誌発行と区民運動会などの企画推進を行いました。

区民運動会



NPOとの共催

(カワバタモロコに会いに行こう)



親睦ゴルフ大会



7

## ●地域活性化ビジョン

(環境保全部会)・・・自主防犯及び自主防災に関すること、環境及び景観の保全に関すること等を所掌する

・環境保全や防犯・防災の啓発活動を旨とし、27年度は青少年の健全育成の一環として、年2回の夜間パトロールを再開しました。

市内夜間パトロール



名張市総合防災訓練



8

## ●地域活性化ビジョン

(福祉厚生部会)……健康及び福祉の増進に関すること、高齢者の生きがいに関すること、子どもの健全育成に関すること等を所掌する

・民生児童委員を中心に、高齢者の福祉や世代間交流の活動を通じ、地域の交流や活性化に取り組んでいます。

もちつき大会

歳末慰問

高齢者交流会



9

## ●地域活性化ビジョン

(文化振興部会)……人権尊重に基づく生涯学習の推進に関すること、地域の文化継承に関する等を所掌する。

・平成26年～27年にかけて完成した、錦生北部地域のウォーキングコースを歩く「ウォーキング大会」を開催。地区内外から約90人の参加者があり、盛大に開催されました。



10

## ●地域活性化ビジョン

(地産地消部会)・・・茸をはじめ地域の産物によるコミュニティビジネス等、地域経営に関することを所掌する

27年度から、錦生女性くらの協力でドレッシング(しめじ、キクラゲ、椎茸)の生産が本格化しました。現在、月2回約300本の生産高で、市内のスーパーや飲食店で委託販売をお願いしていますが、好調な売り上げを見せています。



## ●ほっとサロン「錦」運営協議会

### 【目的】

地域福祉活動の推進を目標に、高齢者の憩いの場として、またひきこもり防止にも一役を担い、皆が明るく元気で参加する場として、さらに地域の活性化を目的とする。

### 【背景】

高齢化が進み、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増えてきた現状において、いつまでも健康で、住み慣れたこの地で、生き生きと暮らすため、支え合いや仲間作り等を目的とした場所の設立が急務であった。

## ●ほっとサロン「錦」運営協議会

### 【施設の概要】

開所日	平成21年11月13日
管理責任	地縁法人 錦生自治協議会
運営責任	ほっとサロン「錦」運営協議会
協力者	民生・児童委員、まちの保健室、地域事務員、ボランティアの方々
利用対象者	錦生地域住民
開催日	毎月 第2、第4木曜日（祝日、盆、正月は除く）
参加費	月 200円



13

## ●「ほっとバス錦」運営協議会

- 平成16年
  - ・三重交通株式会社から不採算路線(安部田線含む)の廃止の発表
  - ・名張市からの補助により継続
- 平成18年6月
  - ・名張市交通対策室から市の財政難により(安部田線)の廃線説明を受ける
  - ・コミュニティバス運行設置委員会を立ち上げ、今後の取り組みについて協議
- 平成19年
  - ・地域住民へのアンケート実施
  - ・アンケートの結果を受け、業者委託運行をする事に決定
- 平成20年2月
  - 『ほっとバス錦』運営協議会正式発足(総会承認)
  - ・路線の決定、バス停設置、路線賃金の設定

14

## ●「ほっとバス錦」運営協議会

- 平成20年4月  
『ほっとバス錦』実証運行開始
  - ・貸切方式により1年間の実証運行
- 平成21年4月1日  
『ほっとバス錦』出発式 ～ 本格運行開始
- 平成24年
  - ・フリー乗車区間の設定



15

## 旧名張市立錦生小学校跡地利用推進

### 【背景】

- ・明治6年創設された小学校が少子化のため平成26年4月、新設校「錦生赤目小学校」に統一され、跡地利用の推進活動が始まった。

### 【活動状況】

- ・地元のシンボルとして存在を残しつつ、未来につなげる跡地活用を行政と地域の協働を基に進めています。
- ・地縁法人錦生自治協議会が施設を借り受け文化活動、教育活動、コミュニティビジネス等を推進。

16



## 旧名張市立錦生小学校跡地利用推進

- ①地域の農業振興と活性化並びに福祉の増進を図ることを目的とし、地域内の協力農家と連携し、「木の子の里錦生事業協議会」を立ち上げ安定生産及販売の施設を設置。



17

## 旧名張市立錦生小学校跡地利用推進

- ②親子、地域の世代を通しての世代間交流の場、放課後子ども教室「ニシキッズのびのび」の立ち上げ。

(親子で遊びながら学ぼう、地元の宝)



(手品を作って試してみよう)



(からくりおもちゃづくり)



(とうふでもちもちフルーツ白玉をつくろう)



(パルーンで夢つくろう)



(包んで楽しい餃子をつくろう)



18

**ご清聴ありがとうございました。**